



Title	川嶋一郎関係資料
Author(s)	山本, 美穂子//解題
Citation	北海道大学大学文書館年報, 5, 167-185
Issue Date	2010-03-19
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/43387">https://hdl.handle.net/2115/43387</a>
Type	other
File Information	5_167-185.pdf



## &lt; 資料目録 &gt;

## 川嶋一郎関係資料目録

## 1. 日記

資料番号	資料名	年代／作成年
0001	川嶋一郎日記 1 「明治三十六年当用日記」	1903年 [明治36年 1～12月]
0002	川嶋一郎日記 2 「明治三十七年当用日記」	1904年 [明治37年 1～12月]
0003	川嶋一郎日記3-1 「明治廿七年孟夏 北海紀行」	1904年 [明治37年 8～9月]
	川嶋一郎日記3-2 「恵庭登山略記」（日記3-1と同一手帳）	1904年 [明治37年 7月]
0004	川嶋一郎日記 4 「明治廿五年夏 東北遊記」	1905年 [明治35年 7月]
0005	川嶋一郎日記 5 「鎌倉日記」	1899年 [明治32年 4月]

## 2. 受講ノート

資料番号	資料名	年代／作成年
0006	受講ノート 1 「農芸物理」	1900～1902年 [明治33～35年]
0007	受講ノート 2 「測量」（平野他喜松講義）	1901～1902年 [明治34～35年]
0008	受講ノート 3 「化学」（吉井豊造講義）	1901～1902年 [明治34～35年]
0009	受講ノート 4 「土性学及肥料論」 （吉井豊造講義）	1903～1904年 [明治36～37年]
0010	受講ノート 5 「家畜飼養論」 （大島金太郎講義）	1905年 [明治38年]
0011	受講ノート 6 「家畜生理学及衛生学」 （橋本左五郎講義）	1905年 [明治38年]
0012	受講ノート 7 「動物学」（原十太講義）	1902～1904年 [明治35～37年]

0013	受講ノート8「畜産実験演習録(畜産学実験ニ於テ)」(橋本左五郎講義)	1904～1905年 [明治] 卅七八年
0014	受講ノート9「畜産汎論」 (橋本左五郎講義)	1905～1906年 [明治38～39年]
0015	受講ノート10「酪農論」 (橋本左五郎講義)	1905～1906年 [明治38～39年]
0016	受講ノート11「植物組織学」 (宮部金吾講義)	1902年 [明治35年]
0017	受講ノート12「農業経済論」 (佐藤昌介講義)	1904～1905年 [明治37～38年]
0018	受講ノート13「農業史及水産論」 (佐藤昌介講義)〈謄写版〉	1904年 [明治37年]
0019	受講ノート14「移民政策及移住政策」 (高岡熊雄講義)	1904～1905年 [明治37～38年]
0020	雑記ノート [肥料・飼料・畜産]	1907～1912年 [明治40～大正1年]

### 3. 書簡

資料番号	資料名	年代/作成年
0021	川嶋泰作宛 川嶋一郎書簡 (札幌北1西10-1→岩手県二戸郡福岡町)	1904年 明治37年12月18日 (消印、筆)
0022	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (札幌区北4東3-2小田島方→岩手県二戸郡福岡町)	1903年 明治36年8月24日 (消印、筆)
0023	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (札幌区北4東3-2小田島方→岩手県二戸郡福岡町)	1903年 明治36年10月14日 (消印、筆)
0024	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (苫小牧→札幌区北6西5山崎下宿屋方)	1904年 明治37年4月25日 (筆)
0025	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (甲府市白木町妙詮寺→札幌農学校内)	1904年 明治37年11月19日 (筆)
0026	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (福山→石狩国月寒種牛牧場)	1907年 明治40年4月11日 (消印：札幌)
0027	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (佐賀→石狩国月寒種牛牧場)	1907年 明治40年4月11日 (消印、筆)
0028	川嶋一郎宛 足助素一書簡 (木曾福島→石狩国月寒種牛牧場)	1907年 明治40年6月1日 (消印、筆)

0029	川嶋一郎宛 三人男〔足助素一・末光績・荒川重理〕書簡 (卯之町、伊予→札幌郡月寒農商務省種畜牧場内)	1908年 [明治41年] 6月8日 (消印)
0030	川嶋一郎・江刺家昂・柳川鑑藏宛 米山豊書簡 (Canada→[札幌農学校])	1906年 1906.4.30.(筆)
0031	川嶋一郎宛 逢坂信悉書簡 (札幌宮ノ森西十二軒→岩手県福岡町)	昭和□5年6月1□日 (消印)
0032	田中館愛橘宛 佐藤昌介書簡 (下二番四十式、東京→本郷弥生町2)	1894年 明治27年1月28日 (筆)
0033	川嶋一郎宛 今裕封書 [佐藤昌介大学葬執行通知]	1939年 昭和14年6月5日 (消印)
0034	川嶋一郎宛 和田栄作封書 [北海道帝国大学恵迪寮々史編纂委員会『恵迪寮史』発刊挨拶文]	1933年 昭和8年2月25日 (消印：札幌)
0035	川嶋一郎宛 札幌遠友夜学校封書 [札幌遠友夜学校50年史編纂協力依頼文]	1943年 昭和18年4月20日 (印刷)
0036	川嶋一郎宛 札幌遠友夜学校封書 [札幌遠友夜学校建築資金募集趣意書]	1929年 昭和4年8月19日 (消印：岩手)

## 4. 証明書

資料番号	資料名	年代／作成年
0037	乗車賃金割引証明書	1902年 明治三十五年七月十日交付

## 5. 写真

資料番号	資料名	年代／作成年
0038	川嶋一郎旧蔵アルバム	1904～1920年 [明治37年6月～大正9年1月]
0038-1	写真1「足助素一の卒業に際して遠友夜学校教師一同（札幌遊園地にて）」 川嶋一郎、河内完治、竹田茂、池田競、足助素一、末光績、末光信三	1904年 明治三十七年初夏 [6月20日]
0038-2	写真2「渡邊環の出征に際して」	1904年 明治三十七年 [6月8日]
0038-3	写真3「渡邊環の追悼会（札幌偕楽園にて）」	1905年 明治三十八年四月二十七日

0038-4	写真4「角館喜一郎の卒業に際して」 川嶋一郎、角館喜一郎、大向太次郎、 大光寺毅夫	1904年 明治三十七年四月十七日
0038-5	写真5「自炊団解散記念」 川嶋一郎、竹田茂、藤井為次郎、 橋本健三郎	1905年 明治三十八年六月十八日
0038-6	写真6「北澤小八郎、河内完治、田中享蔵の 送別に際して遠友夜学校教師と生徒」	1905年 明治三十八年六月十五日
0038-7	写真7「第22期生(畜産学専攻)卒業記念」 川嶋一郎、江刺家昂、柳川鑑蔵、米山豊、 湯地定武、橋本左五郎、長嶺林三郎	1905年 明治三十八年
0038-8	写真8「長嶺林三郎助教授の渡台に際して」 川嶋一郎、江刺家昂、柳川鑑蔵、高松正信、 三宅於菟松、相原金治、湯地定武、石澤 達夫、岩波六郎、仁木信雄、橋本左五郎、 長嶺林三郎	1906年 明治三十九年二月二十五日
0038-9	写真9「畜産学実習室にて」 川嶋一郎、江刺家昂、柳川鑑蔵	1906年 明治三十九年二月十一日
0038-10	写真10「第23期生(畜産学専攻)卒業記念」 川嶋一郎、江刺家昂、柳川鑑蔵、高松正信、 三宅於菟松、相原金治、橋本左五郎ほか 1名	1906年 明治三十九年六月七日
0038-11	写真11「湯地定武(22期生)」	1905年 [明治38年]
0038-12	写真12「河内完治(22期生)」	1905年 [明治38年]
0038-13	写真13「米山豊(22期生)」	1905年 [明治38年]
0038-14	写真14「藤井為次郎(23期生)」	1906年 [明治39年]
0038-15	写真15「橋本健三郎(23期生)」	1906年 [明治39年]
0038-16	写真16「素木得一(23期生)」	1906年 [明治39年]
0038-17	写真17「色部米作(23期生)」	1906年 [明治39年]
0038-18	写真18「柳川鑑蔵(23期生)」	1906年 [明治39年]
0038-19	写真19「大竹温孝(23期生)」	1906年 [明治39年]

0038-20	写真20「松井秀吉（24期生）」	1907年 [明治40年]
0038-21	写真21「高松正信（24期生）」	1907年 [明治40年]
0038-22	写真22「相原金治（24期生）」	1907年 [明治40年]
0038-23	写真23「江刺家昂（23期生）」	1906年 [明治39年]
0038-24	写真24「米山豊（米国留学中）」	1910年 [明治43年]
0038-25	写真25「米山豊（米国留学中、英字署名入り）」	1910年 July 1910.
0038-26	写真26「巻渕興之助（大東興之助、東北帝国 大学農科大学1期生）」	1909年 [明治41年]
0038-27	写真27「ウェーバー女史の米国帰国に際して 札幌美以教会聖書講義聴講者一同」 ウェーバー、川嶋一郎、藤井為次郎ほか5 学生	1904年 明治三十七年三月二十一日
0038-28	写真28「相原金治夫妻（成婚）」	1910年 明治四十三年四月二十日
0038-29	写真29「第23期生卒業記念（農学講堂前庭に て）」	1906年 明治三十九年七月
0038-30	写真30「三浦道哉卒業に際して岩手県人一同 （豊平館庭園にて）」 三浦道哉、川嶋一郎、大光寺毅夫、大向太 次郎、山田拍採ほか6学生	1911年 明治四十四年六月
0038-31	写真31「遠友夜学校倫古龍会生徒と教師一同 （第23期生卒業に際して）」 川嶋一郎、末光績、竹田茂、池田競ほか25人	1906年 明治三十九年七月八日
0038-32	写真32「遠友夜学校董会生徒と教師一同（第 23期生卒業に際して）」 川嶋一郎、末光績、竹田茂、池田競ほか31人	1906年 明治三十九年七月八日
0038-33	写真33「小泉藤之介（24期生）、川嶋一郎」	1907年 明治四十年六月
0038-34	写真34「月寒種畜牧場 正門」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-35	写真35「月寒種畜牧場からの遠望」	1908～1910年 [明治41～43年]

0038-36	写真36「月寒種畜牧場 事務所」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-37	写真37「橘牧夫と牛（月寒種畜牧場牝牛舎サイロ前）」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-38	写真38「月寒種畜牧場 牝牛の放牧(1)」	1910年 明治四十三年秋
0038-39	写真39「月寒種畜牧場 牝牛の放牧(2)」	1910年 明治四十三年秋
0038-40	写真40「月寒種畜牧場 製乳所」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-41	写真41「月寒種畜牧場 牝牛舎（サイロ付き）」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-42	写真42「月寒種畜牧場の同僚と共に、馬上にて」 川嶋一郎、愛宕倉吉、新屋与作	1908年 明治四十一年十月
0038-43	写真43「月寒種畜牧場の同僚と共に、牝牛の4人乗り」 川嶋一郎、浦井□之介、長崎涉、米澤政賢	1910年 明治四十三年五月二十四日
0038-44	写真44「月寒種畜牧場 牝牛の放牧(3)」	1908年 明治四十一年秋
0038-45	写真45「月寒種畜牧場 犢牛の放牧」	1908年 明治四十一年秋
0038-46	写真46「月寒種畜牧場 牧草の収穫」	1908年 明治四十一年夏
0038-47	写真47「月寒種畜牧場 燕麦の収穫」	1908年 明治四十一年秋
0038-48	写真48「月寒種畜牧場 馬1頭引きバインダーによる牧草収穫」	1908年 明治四十一年
0038-49	写真49「月寒種畜牧場 馬2頭引きリーパーによる牧草収穫」	1908年 [明治41年]
0038-50	写真50「月寒種畜牧場 馬2頭引き荷車による肥料運搬」	1908年 [明治41年]
0038-51	写真51「月寒種畜牧場 牝牛舎内部の景」	1908～1910年 [明治41～43年]
0038-52	写真52「月寒種畜牧場 二周年記念」 川嶋一郎、新屋与作、今道行ほか9人	1907年 明治四十年二月

0038-53	写真53「月寒会一同（月寒種畜牧場旧職員懇親会、東京にて）」 川嶋一郎、岩波六郎、愛宕倉吉、青山操、米澤政賢、長谷川半七、八木純徳、山脇圭吾、湯地定武	1914年 大正三年五月末日
0038-54	写真54「月寒会一同（東京にて）」 川嶋一郎、岩波六郎、愛宕倉吉、長崎渉、工藤重佐、山脇圭吾、米澤政賢	1920年 大正九年一月四日
0038-55	写真55「長崎渉、川嶋一郎（東京にて）」	1911～1916年 [明治44～大正5年]
0038-56	写真56「前川多一郎（月寒種畜牧場技手）」	1911年 [明治44年]
0038-57	写真57「愛宕倉吉（月寒種畜牧場職員）」	1911年 [明治44年]
0038-58	写真58「長谷川半七（月寒種畜牧場技手）」	1911年 [明治44年]
0038-59	写真59「長崎渉（月寒種畜牧場技手）」	1911年 [明治44年]
0038-60	写真60「遠友夜学校卒業記念」	1904～1905年 明治三十七、八年頃
0039	写真61「佐藤政次郎・石澤達夫卒業記念（南部同郷人・弼水倶楽部員一同）」	1901年 明治34年7月
0040	写真62「逢坂信丞」	1914年 大正3年1月3日
0041	写真63「米山豊」	1910年 大正9年7月
0042	写真64「米山豊」	1958年 昭和33年
0043	写真65「米山豊夫妻」	1958年 昭和33年
0044	写真66「森本厚吉博士」	1928年 [昭和3年]
0045	写真67「川嶋一郎（日進学舎同級生と共に、仙台）」	1895年 明治28年2月17日
0046	写真68「川嶋一郎、川嶋明八（尚志社同人と共に、仙台）」	1895年 明治28年10月17日
0047	写真69「小島正治、川嶋一郎（東京）」	1897年 明治30年3月20日

0048	写真70「川嶋一郎、川嶋明八(仙台)」	1896年 明治29年1月
0049	写真71「小島正治」	1900年 [明治33年]
0050	写真72「小島正治、川嶋一郎(東京)」	1899年 明治32年1月3日
0051	写真73「小島正治(石黒春秋と改名)」	1905年 明治38年7月14日
0052	写真74「川嶋一郎」	1900年 [明治33年]
0053	写真75「国分兵吉」	1895～1903年 [明治28～36年]
0054	写真76「小島正治(石黒春秋)」	1910年 明治43年6月
0055	写真77「川嶋一郎、川嶋明八」	1900年 明治33年5月
0056	写真78「私立中学郁文館卒業記念」	1900年 明治33年4月7日
0057	写真79「露国司祭伊望(Ioann of Kronstadt)」	1877～1887年 [明治10年代]
0058	写真80「小田伝教師」	1877～1887年 [明治10年代]
0059	写真81「川嶋泰作」	1877～1887年 [明治10年代]
0060	写真82「川嶋きよ子」 (浅草公園地；早取写真師江崎禮二撮影)	1877～1893年 [明治10年代～明治26年]
0061	写真83「川嶋明八」 (宮城県仙台市東壹番町；人物専門写真師白崎民治撮影)	1892～1896年 [明治20年代後半]
0062	写真84「国分壽郎」 (東京神田淡路町；江木本店撮影)	1898年 [明治21年]
0063	写真85「川嶋明八、国分兵吉ほか(仙台)」	1895年 明治28年10月
0064	写真86「川嶋明八(日本赤十字社病院)」 (東京芝新橋角国立国会議事堂前；丸木利陽撮影)	1905年 明治38年
0065	写真87「川嶋明八、国分壽郎、川嶋直次ほか」 (東京九段中坂上；長谷川武撮影)	1905年 [明治38年]

0066	写真88「川嶋末蔵、川嶋直次ほか（二戸）」	1907年 [明治40年]
0067	写真89「真山梧洞、川嶋泰作、下斗米常直、金辰五郎（二戸）」	1904年 明治37年 8月18日
0068	写真90「札幌農学校創基25周年記念集合写真（演武場前にて）」	1901年 [明治34年 5月]

## 6. 論考

資料番号	資料名	年代／作成年
0069	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷」 （『畜産』第2巻第5号、16～18頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行
0070	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷(続)」 （『畜産』第2巻第6号、16～17頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行
0071	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷(続)」 （『畜産』第2巻第7号、18～20頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行
0072	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷(続)」 （『畜産』第2巻第8号、18～20頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行
0073	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷(続)」 （『畜産』第2巻第9号、21～22頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行
0074	川嶋一郎「本邦に於ける緬羊業の変遷(続)」 （『畜産』第2巻第10号、15～17頁）〈複製〉	1916年 大正5年発行

## 7. 回想等

資料番号	資料名	年代／作成年
0075	川嶋一郎「偲草 後篇」〈複製〉	1955～1966年 [昭和30～41年]
0076	川嶋一郎『七十七年の回顧』	1956年 昭和31年 8月1日発行
0077	川嶋一郎著・川嶋昭二編『吾が半生の思い出』〈複製〉	1992年 平成4年発行
0078	川嶋一郎著・川嶋昭二編『北海紀行 明治三十七年八月十八日～九月十日』	

## 8. 旧蔵書等

資料番号	資料名	発行年
0079	札幌農学校学芸会編『札幌農学校』	1898年 明治32年6月発行
0080 ~0081	札幌農学校創立二十五年記念祝賀会編 『札幌農学校創廿五年紀念』 * 2冊	1901年 明治34年5月発行
0082	札幌農学校創立二十五年記念祝賀会編『札幌農学校創立廿五年記念祝賀会報告』	1901年 明治34年5月発行
0083	東北帝国大学農科大学文武会学芸部蔵版『東北帝国大学農科大学』	1910年 明治43年5月発行
0084	『東北帝国大学農科大学一覽 自明治四十三年至明治四十四年』	1910年 明治43年12月発行
0085	『創基五十年記念北海道帝国大学沿革史』	1926年 大正15年3月発行
0086	『北海道帝国大学創基五十周年記念講演集』	1928年 昭和3年2月発行
0087	惠迪寮寮史編纂委員会編『惠迪寮史』	1933年 昭和8年11月発行
0088	大島正健著・大島正満補訂『クラーク先生とその弟子達』	1937年 昭和12年7月発行
0089	中島九郎『佐藤昌介』	1956年 昭和31年9月発行
0090	鈴木限三『白堊校舎の新しきころ』	1970年 昭和45年発行
0091	逢坂信彦「時計台の起因並びに鐘と銘とに関する考察」(『北大季刊』第15号別刷)	1958年 昭和33年12月発行
0092	逢坂信彦「時計台をめぐる人々」(『時計台建立八十周年記念誌』抜刷)	1960年 昭和35年3月発行
0093	逢坂信彦「クラーク先生及び門人の書簡集」(『北大季刊』第13号・第14号抜刷合冊)	1957・1958年 昭和32年12月、昭和33年6月発行
0094	逢坂信彦『クラーク先生を語る BOYS, BE AMBITIOUS.』	1960年 昭和35年4月発行
0095	逢坂信彦『クラーク先生を語る BOYS, BE AMBITIOUS. Essays on Dr. William Smith Clark』	1963年 昭和38年12月発行

0096	逢坂信彦『クラーク先生詳伝』	1956年 昭和31年2月発行
0097	『新渡戸博士文集』	1936年 昭和11年11月発行
0098	『新渡戸稲造追憶集』	1936年 昭和11年11月発行
0099	福田清人・高原二郎編著『有島武郎 人と作品』	1966年 昭和41年10月発行
0100	鎌田研一『小説 有島武郎』	1939年 昭和14年6月発行
0101	『遠友夜学校々友会報告』第1号	1919年 大正8年12月発行
0102	『遠友』第31号	1943年 昭和18年6月発行
0103	新聞切抜【佐藤昌介訃報関係】 (1)「惜まる、「北大の父」佐藤男の輝く足跡」 (2)「佐藤昌介男【札幌発】」	1939年 [昭和14年6月発行]

- 注 1. 解読不能な文字は□、推定は [ ] 表記とした。  
 2. 不明は空欄とした。  
 3. 書簡は資料名欄において、2行目に差出人→受取人の住所を（ ）表記とした。消印は原則として差出地の日付を記し、差出地の消印が不明な場合は受取地の日付を記した。（筆）は差出人が書簡をしたための日付を意味する。  
 4. 川嶋一郎旧蔵アルバム（No0038）所収の写真は、資料番号に枝番号を付した。  
 5. 写真は資料名欄において、通し番号を付し、キャプションを作成して「 」内に示した。なお、被写体で人物名が特定できる場合は2行目以降に列挙した。  
 6. No0060～0062、0064～0065は、写真台紙に印刷された写真撮影師・写真館の所在を（ ）内に表記した。  
 7. No0069～0074は『畜産』記載通りに「川嶋一郎」と表記した。

川嶋一郎略年譜

1880年11月	21日、川嶋泰作、きよ子の長男として、岩手県二戸郡福岡町に生まれる
1887年4月	福岡尋常小学校入学
1894年4月	福岡小学校高等科卒業
1895年1月	仙台遊学。日進学舎に通学
1895年9月	仙台数学院（東京数学院宮城分院）に転学
1896年4月	東京遊学。東京数学院、国民英学会に通学
1896年9月	早稲田中学校入学
1898年3月	早稲田中学校退校
1898年4月	私立中学郁文館入学
1899年4月	円覚寺内佛日庵（鎌倉）にて脚気療養、「鎌倉日記」を記す
1900年3月	私立中学郁文館卒業
1900年9月	札幌農学校予修科入学
1902年7月	札幌農学校予修科卒業
1902年7月	大光寺穀夫と共に夏期旅行（青森・秋田）、「東北遊記」を記す
1902年9月	札幌農学校本科進学
1903年1月	「明治三十六年当用日記」を記す
1903年1月	遠友夜学校教師となる
1904年1月	「明治三十七年当用日記」を記す
1904年7月	農業乙科（畜産）を専攻
1904年7月	河内完治、足助素一等と共に恵庭岳登山、「恵庭登山略記」を記す
1904年7月	旭農場（上川郡鷹栖村近文）にて約1カ月乳牛飼養実習をする
1904年8月	夏期旅行（道央・道東）、「北海紀行」を記す
1906年7月	札幌農学校本科卒業〔第23期生〕。卒業論文は「氷乳ノ状態ニ就テ」
1906年11月	農商務省月寒種牛牧場勤務（技手）
1911年5月	農商務省畜産課勤務
1916年5月	千葉県庁勤務（～1922年7月）。 千葉県立種畜場分場長（1918）、農事試験場技師（1922）も兼務
1926年1月	二戸郡農会長就任（～1931年）
1926年3月	二戸郡養蚕組合長就任
1926年4月	福岡町会議員就任
1930年3月	福岡町長就任（～1946年11月）
1931年10月	養蚕実行組合二戸郡連合組合長就任
1933年4月	二戸産馬組合副組合長就任（～1946年）
1934年4月	盛岡銀行監査役、盛岡不動産会社取締役就任
1936年5月	二戸郡町村長会長選出
1952年1月	裁判所調停委員再任
1976年1月	29日、死去

## 【 解 題 】

山本 美穂子

## 1. 川嶋一郎について

川嶋一郎（1880～1976）は1880年岩手県二戸郡福岡町に生まれ、1900年私立中学郁文館を卒業、札幌農学校予修科へ入学した。1902年には同校本科に進学し、橋本左五郎教授のもとで畜産学を専攻、卒業論文「氷乳ノ状態ニ就テ」を提出し、1906年7月に第23期生として卒業した。卒業後は、1906年11月農商務省に出仕し、設立間もない農商務省月寒種牛牧場（1908年月寒種畜牧場と改称）において種畜事業・畜産共進事業に従事した。1911年農商務省畜産課に異動後は綿羊飼育奨励事業にも携わった。1916～22年千葉県庁勤務の後、郷里の福岡町にもどり、1926年二戸郡農会長、1930年二戸郡福岡町長など同地域における重職を歴任した（1～25頁、略年譜参照）。

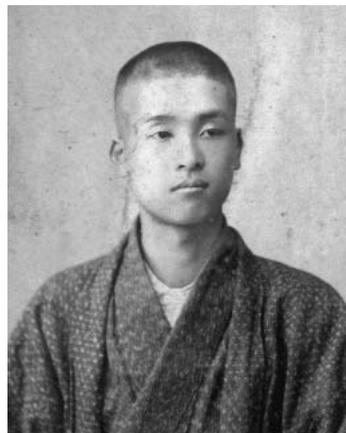


図1 川嶋一郎(1900年、No0052)

## 2. 川嶋一郎関係資料について

## 2-1. 資料寄贈と資料移管

北海道大学大学文書館では、川嶋昭二氏（川嶋一郎次男）から、2007年6月11日に川嶋一郎関係資料31点を寄贈いただいたことを契機に、川嶋一郎関係資料の調査・収集を行ってきた。これまでに、川嶋昭二氏、川嶋貞子氏（川嶋亮太夫人、二戸市福岡在住）、学内の教育研究組織に協力いただき大学文書館に収蔵された資料の概要は下記のとおりである。

- |         |             |                               |        |
|---------|-------------|-------------------------------|--------|
| (1) 寄贈日 | ：2007年6月11日 | 寄贈者                           | ：川嶋昭二氏 |
|         | 寄贈資料        | ：日記3点、アルバム1点、写真6点、書簡15点など計31点 |        |
| (2) 寄贈日 | ：2008年6月16日 | 寄贈者                           | ：川嶋昭二氏 |
|         | 寄贈資料        | ：日記2点、写真（複製）12点               |        |
| (3) 寄贈日 | ：2008年10月6日 | 寄贈者                           | ：川嶋貞子氏 |
|         | 寄贈資料        | ：写真（複製）11点                    |        |
| (4) 寄贈日 | ：2009年9月2日  | 寄贈者                           | ：持田誠氏  |

寄贈資料：書簡1点

- (5) 移管日：2007年10月29日 移管組織：農学研究院家畜生産学分野  
移管資料：受講ノート6点（川嶋昭二氏が1976年畜産学科に寄贈した資料）
- (6) 移管日：2008年11月18日 移管組織：総合博物館  
移管資料：受講ノート8点、乗車賃金割引証明書（1902年）、旧蔵書など36点  
（川嶋昭二氏が2004年総合博物館に寄贈した資料）

## 2-2. 資料解説

### (1) 日記

日記5点（No0001～0005）の概要は下記のとおりである。いずれも、川嶋昭二氏より受贈したものであり、川嶋一郎の札幌農学校在学中の日記が4点、私立中学郁文館在学中の日記が1点である。

#### ①「明治三十六年当用日記」（No0001）

札幌農学校本科1年級～2年級在学中、1903年1月～7月、9月～12月の当用日記。校舎新築に伴い、寄宿舎（～7月）、下宿（9月～）の両生活を記録している。形態は市販日記（博文館製、15×22.5×2.5cm）で、筆記はペン筆である。巻末に金銭出納録の記録がある。

#### ②「明治三十七年当用日記」（No0002）

札幌農学校本科2年級～3年級在学中、1904年1月～7月、9月～12月の当用日記。下宿生活のほか、同級生等と一軒家を借りた自炊共同生活（10月～）を記録している。形態は市販日記（博文館製、13×19.5×2.8cm）で、筆記はペン筆である。巻末に金銭収支一覧、金銭出納録の記録がある。

#### ③「明治卅七年孟夏 北海紀行」・「恵庭岳登山略記」（No0003）

札幌農学校本科2年級在学中、1904年7月旭牧場（上川郡近文）にて約1カ月乳牛飼養実習をした後、8月～9月夏期休暇を利用して、網走、根室、釧路、帯広、日高地方を旅行した際の紀行日記。巻末に、同年7月、河内完治、足助素一等とともに恵庭岳登山をした日記が記載されている。形態は懐中手帳（9.0×14.3×1.0cm）で、筆記は主に鉛筆である。数ページ毎に各地のスケッチ（鉛筆・墨筆）が描かれている。

#### ④「明治卅五年夏 東北遊記」（No0004）

1902年7月、札幌農学校予修科卒業後の夏期休暇中、同級生の大光寺毅夫と共に青森・秋田地方を旅行し、その後大光寺と別れて郷里の岩手県二戸郡福岡町に帰省するまでの紀行日記。十和田湖畔の山麓遭難のほか、青森、秋田、岩手県下の街並みや風土、小坂鉾山見学などを記録している。形態は懐中手帳（8.5×12.2×0.8cm）で、筆記は鉛筆である。数ページ毎に各地の水彩スケッチが描かれている。なお、同表題は、川嶋一郎の愛読雑誌『時代思潮』の中で、川嶋一郎が傾倒した姉崎嘲風（正治）が1904年3月発表した紀行文

（「東北遊記」・「東北遊記余録」）にも使用されている。

⑤「鎌倉日記」（No0005）

1899年4月2日～同月11日、私立中学郁文館在学中、脚気療養のため鎌倉円覚寺に滞留した際の日記。療養生活中心に行なった寺社仏閣への参拝、登山、海岸散策などを記録している。形態は17×25.5cm、表紙・裏表紙が藁半紙各1枚、本文が罫線和紙9枚、中扉（はしがき）が無地和紙1枚、こより綴じである。筆記は墨筆で行われている。なお、日記本文には「彌生日記」と題されているが、後日綴じた際の表紙には「鎌倉日記」と記載されている。

なお、川嶋一郎は学生時代に上記5点の日記のほか、回想『吾が半生の思い出』（No0077）によると、「独立日記」（1901年札幌農学校予修科生徒の際の自炊生活日記）を記している。しかし、「独立日記」の現存は確認できていない。

日記の翻刻については、これまで、川嶋昭二氏が「北海紀行」を翻刻・刊行（No0078、私家版）されている。2009年6月には、川嶋昭二氏に補訂いただき、上記の5日記を翻刻して『〈翻刻〉札幌農学校第23期生川嶋一郎日記（1899～1904年）』（北海道大学大学図書館資料叢書3、2009年6月）を刊行した。

(2) 受講ノート

川嶋一郎の札幌農学校在学時の受講ノートは14点である。札幌農学校本科3～4年級在学時の畜産学関係科目の受講ノート5点（No0010～0011、0013～0015）は、農学研究院家畜生産学分野より移管を受けた。畜産学関係科目以外の受講ノート9点（No0006～0009、0012、0016～0019）は、総合博物館より移管を受けた。そのほかに、農商務省月寒種畜牧場勤務時の雑記ノート1点（No0020、農学研究院家畜生産学分野より移管）がある。

川嶋一郎の同級生の受講ノートとしては、逢坂信悉の受講ノート14点を確認している。しかし、逢坂信悉の受講ノートは、植物学・動物学・農業経済学関係のノートであり、畜産学関係のノートはない。また、上級生である19～22期生（1901～05年卒業）の畜産学関係の受講ノートも、現存が確認できていない。そのため、川嶋一郎の受講ノートは、1900年ドイツ留学から帰国した橋本左五郎教授が「畜産学」を本格的に指導し始めた最初期を知り得る唯一のノートである。



図2 橋本左五郎講義「酪農論」（1905～06年、No0015）

### (3) 書簡

書簡は、川嶋一郎が差出人の書簡が1点 (No0021)、田中館愛橋が差出人の書簡が1点 (No0032)、川嶋一郎が受取人の書簡が14点 (No0022～0031、0033～0036)、合計16点である。No0021は持田誠氏より、No0022～0036は川嶋昭二氏より受贈した。

No0021は、1904年12月18日、札幌農学校本科3年級の川嶋一郎が、実家へ宛てた絵はがきである。川嶋一郎は、父の泰作に「本月分学費ハ何卒廿五六日頃までに御送付被下度願上候」と学費仕送りを嘆願し、1学期の期末試験が19日に終わること伝えている。使用した絵はがきの絵柄は、北8条キャンパスに新築された図書館閲覧室の写真である。この写真には、1903年12月2日原十太館長から依頼を受け、川嶋一郎も読書する学生のひとりとして写っている。

No0022～0029は、親友の足助素一 (1878～1930、1904年7月森林科卒業、後に出版社「叢文閣」を創業し、『有島武郎著作集』等を刊行した) が川嶋一郎に宛てた封書2点・絵はがき6点である。No0025は、山梨県庁技師として離札した足助素一が、1904年11月19日、日露戦争を悲嘆して「先きに兄は戦争に関する新聞の雑報を読み得ぬといひ、僕は嗜好を以て読み得るといつて居たが今日に至つて僕は漸く兄の境に進むことを得た、僕の登庁するや路必ず停車場通りを行かねばならぬ、此頃は連日ラッパ太鼓で送らる、老兵に逢ふのであるが僕は俄に身体中に寒きを徹して来る言ひ知らぬ悲しみに涙を促がされる」と、共に非戦論者であった川嶋一郎に宛てたものである。

No0030は、畜産学教室の先輩である米山豊 (22期生) が、農商務省農業練習生として留学したカナダから、川嶋一郎ら教室の後輩を激励した書簡である。

No0032～0033は、佐藤昌介 (1856～1939、札幌農学校校長・東北帝国大学農科大学長・北海道帝国大学総長) にまつわる封書2点である。No0032は、川嶋一郎の遠戚にあたる田中館愛橋 (東京帝国大学教授、二戸市福岡出身) が佐藤昌介に宛てたもの、No0033は佐藤昌



図3 川嶋泰作宛て絵はがき  
(1904年12月18日、No0021)



図4 川嶋一郎宛 足助素一書簡  
(1904年、No0025)

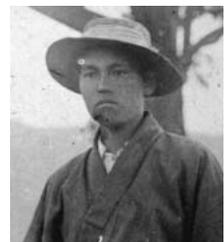


図5 足助素一  
(1904年、No0038-1)

介大学葬の通知である。

No0034～0036は、川嶋一郎が札幌農学校在学時代に、寄宿舎（現 恵迪寮）の舎生であったこと、遠友夜学校教師であったことから受け取った封書3点である。

#### （4）証明書

札幌農学校では、農学、農業経済学、植物学、昆虫学、地質学、動物学、土木工学、畜産学などの実地研究のため、「修学旅行」が行なっていた。一つは、学期中に1～3日間程度、教官が引率し、校費で学生たちを道内各地に派遣した。もう一つは、夏期休暇中（約1カ月）、長期間にわたり、学生自身が私費で専攻分野の実地研究のため、道内外問わず、実習・見学旅行をした。

川嶋一郎も、1902年7月の夏期休暇中、帰省の途次、同級生の大光寺毅夫と共に、東北各県の見学旅行をした。その際、鉄道の学生割引を受けるため、札幌農学校が交付した証明書がNo0037「乗車賃金割引証明書（日本鉄道株式会社）」である。総合博物館より移管を受けた。

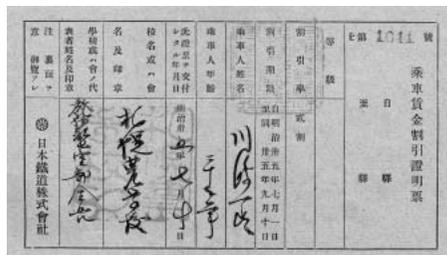


図6 乗車賃金割引証明書  
(1902年、No0037)

#### （5）写真

No0038～0056は、川嶋昭二氏より受贈した。No0057～0067は、川嶋貞子氏より川嶋家所蔵アルバムを借用して複写撮影した写真である。No0068は総合博物館より移管した、川嶋一郎旧蔵の札幌農学校創立25周年記念写真である。

川嶋昭二氏より受贈した写真は、①仙台・東京遊学関係、②札幌農学校関係、③遠友夜学校関係、④月寒種畜牧場関係の写真である。②③④は、主に、川嶋一郎旧蔵アルバムであるNo0038（60枚貼付）におさめられている。①～④の写真の概要は次のとおりである。

①の写真は、仙台の日進学舎、東京の私立中学郁文館・早稲田中学校に通学した頃の写真や、友人達（小島正治、國分兵吉など）の写真である。1900年、私立中学郁文館卒業記念写真（No0056）もある。

②の写真は、卒業・送別に際する記念写真や、同窓生のポートレート（卒業・離札の際に受け取ったと考えられる）が多い。日露戦争で出征して戦没した同級生の渡邊環に関する写真（No0038-2、0038-3）もある。また、札幌農学校における岩手県人の強い絆をうかがえる写真も3点（No0038-4、0038-30、0039）ある。



図7 私立中学郁文館卒業記念  
(1900年、No0056)

No0039は、弴水倶楽部（札幌農学校内における岩手県人会）の写真で、1903年11月倶楽部を再興した石澤達夫（19期生）、花巻出身の佐藤昌介校長らの姿がみえる。

③の写真は、遠友夜学校の倫古龍会、董会、卒業式等での教師や生徒たちの、1904～06年に撮影された写真である。

④の写真は、月寒種畜牧場の建物や風景、牧草収穫時に使用していた西洋式農機具など、同牧場の開設初期をうかがえる1908～10年頃の写真が多い。同牧場の元職員のポートレート（No0038-56～0038-59）や、懇親会「月寒会」の写真（No0038-53、0038-54）もある。

また、川嶋貞子氏より提供いただいた写真は、川嶋一郎の郷里の家族の写真であり、両親（川嶋泰作・きよ子）、弟（川嶋直次）、叔父（川嶋明八、川嶋末蔵）など、1870～1900年代の写真である。そのほかに、川嶋泰作の所持品と考えられる、ロシア正教会の司祭や伝教師の写真（No0057～0058）が含まれており、ロシア正教会による1870～80年代の岩手県下における布教がうかがえる。



図8 自炊団解散記念  
(No0038-5)



図10 畜産学実習室にて  
(1904年、No0038-9)



図12 露国司祭伊望  
(No0057)



図10 南部同郷人・弴水倶楽部  
(1901年、No0039)



図9 遠友夜学校董会生徒と共に  
(1906年、No0038-32)



図13 月寒種畜牧場  
(1908年、No0038-48)

## (6) 論考

1914年、農商務省に勤務していた川嶋一郎が、下総牧羊場の沿革記録を用い、「本邦における緬羊業の沿革並に現況」を調査してまとめた。当時、農商務省は緬羊飼育奨励の方針をとり、1915年議会では緬羊業奨励案を提出して予算が計上された。川嶋一郎が作成した調査書の概要は、道家斉農務局長の推薦により、1916年、中央畜産会の機関雑誌『畜産』に6回にわたり連載された。同雑誌(原本)は、北海道大学附属図書館に所蔵されている。

## (7) 回想等

川嶋一郎は、回想録を日常的に市販ノート等に記していた。ノートのひとつは「偲草」と題され、「偲草 後篇」(1955～66年)は川嶋昭二氏が所蔵している。その複製がNo0075である。「偲草 前篇」は現存が確認されていない。

『七十七年の回顧』(No0076、農学研究院家畜生産学分野より移管)は、川嶋一郎が1956年に刊行した自身による年譜である。『吾が半生の思い出』(No0077、北海道大学附属図書館北方資料室蔵書)は、1961年4月9日まで川嶋一郎が書き綴った回想録を、川嶋昭二氏が編纂して刊行したものである。1880年出生から、1922年家督相続のため千葉県庁を辞職して帰郷するまでの回想が、日記や書簡類などをもとに綴られている。いずれも私家版である。

## (8) 旧蔵書等

川嶋一郎の旧蔵書等は、No0080、0101～0103は川嶋昭二氏より受贈し、それ以外は総合博物館より移管を受けた。主に、札幌農学校～北海道帝国大学の沿革史や卒業生の伝記・回想録、友人の逢坂信彦より贈られた著作が多い。

その内、川嶋一郎に札幌農学校への憧憬を抱かせた、札幌農学校学芸会編『札幌農学校』(1898年、No0079)には、「本書ハ私ニ札幌農学校入学ノ決心ヲ為サシメシ紀念ノ冊子テアル」と書き込みがある。大学昇格を記念して刊行された文武会学芸部蔵版『東北帝国大学農科大学』(1910年、No00083)の裏表紙には、学生時代を懐かしみ、詠んだ歌がびっしりと書き込まれている。

〈謝辞〉川嶋一郎関係資料調査にあたり、多くの方々に御協力いただきました。川嶋昭二氏、川嶋貞子氏、菅原孝平氏、二戸市立二戸歴史民俗資料館、田中館愛橘会、北海道大学総合博物館、北海道大学農学研究院家畜生産学分野、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、北海道大学附属図書館北方資料室の皆様、厚く御礼を申し上げます。

(やまもと みほこ／北海道大学大学文書館員)